



稲穂いなほ

仙南小学校
H29. 7. 24

No. 19

いよいよ明日から夏休み!! 夏休みを迎える集会ででの発表を紹介します。

1年2組 ○○○○

ぼくがなつやすみにがんばりたいことは、2つあります。

1つめは、たしざんとひきざんが、ただしくできるようになることです。2つめは、なわとびがとべるようになることです。まいにち、れんしゅうをがんばります。

3年2組 ○○○○

夏休みは早く勉強を終わらせて、皿洗いや食器の整頓などのお手伝いをたくさんしたいです。

楽しみにしていることは、自由かだいです。今年は「私の成長のアルバム」を作る予定です。すてきな作品にしたいです。

5年1組 ○○○○

私が夏休みがんばりたいことは、3つあります。

1つ目は、毎日自由時間前に宿題を終わらせることと、必ずすまいるノートを2ページやって計画的に進めることです。2つ目は、1日1時間、体を動かす遊びをして健康に過ごすことです。3つ目は、責任を持って皿洗いを毎日することです。

夏休みを迎える集会で以下のような内容についてお話ししました。有意義な夏休みにさせたいものです。

ピンチとチャンス（白鵬）

夏休みの目標はしっかりと立てましたか。その目標を達成させる自信はありますか。

さて、昨日で大相撲名古屋場所が終わりました。皆さんは、場所中に通算勝利数歴代1位になった関取を知っていますか。横綱白鵬関ですね。白鵬関は今から17年ほど前の2000年10月25日に6人のモンゴル人と共に大相撲で活躍していた同じモンゴル出身の旭鷲山関を頼って来日しました。当時は15歳でした。他のモンゴル人がそれぞれ入門していく中で、身長175cm、体重68kgしかない小柄な白鵬を受け入れてくれる部屋は最後までありませんでした。このままではモンゴルに帰らなければならない絶体絶命のピンチです。その帰国の前日12月24日、彼をかわいそうに思った旭鷲山関が自らの師匠に相談し、宮城野部屋に入れてもらったのです。

こうして角界入り(力士)となったものの、小柄な体から大きな期待はされていなかったといえます。しかし、親方は少ない可能性にかけるため、入門してからの2ヶ月間は稽古をさせず、毎日吐くほどに食べさせ、牛乳を飲ませました。食文化の違いを苦にせず大食漢だった(なれない日本食でも好き嫌いなくたくさん食べた)ことと、熱心な稽古によって白鵬関は大きく成長し続け、現在は身長192cm、体重155kgです。

直径15尺(4m55cm)の土俵上で、巨漢同士(大きな相撲取り同士)がぶつかり合う大相撲では、瞬間瞬間で「ピンチとチャンス」が繰り返されます。そのピンチをチャンスに変えるのは、健康でしっかりした体と毎日の豊富な稽古(練習)量、ピンチをチャンスに変える精神力(諦めないという気持ち)だと思います。

大相撲を諦めて帰らざるを得なかった白鵬関が大横綱になって多くの新記録を達成しているように、皆さん一人一人にも無限の可能性が 있습니다。ピンチをチャンスに変える体力と精神力(最後まで諦めないなどの気持ち)を持って、暑さに負けず、この夏休みを過ごしましょう。



何か困ったことや疑問に思うこと、相談事などがあった場合、気兼ねなく学級担任や教頭・校長に連絡して下さい。もちろん、「些細なことでは？」などと考えず、気軽に問い合わせ下さい。また、万が一けがや病気になった場合は必ずお知らせ下さい。